

防衛局ぐるみ構図はつきり

辺野古アクセス

28日の衆院予算委員会で、政府が狙う沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に関する環境影響評価書の発注業務をめぐる疑惑を追及した日本共産党の笠井亮衆院議員。沖縄防衛局ぐるみの構図が浮き彫りになりました。

笠井議員の追及

笠井氏の質問に渡辺防衛副大臣は、防衛局が発注した業務は34件86億円超に上り、受



笠井 アセスの結論が新基地建設あり

審査委員は発注者

きになるのは当然だ。「お手盛りアセス」だ。

田中直紀防衛相法令に従って適切に処理している。

思い通りに作成

開き直る防衛相に対し、笠井氏は発注の大半が「プロポーザル方式」を採用していること



質問する笠井亮議員（手前）28日、衆院予算委

とを指摘しました。

同方式では、入札参加表明企業について、防衛局内に設置された「競争参加資格・指名審査委員会」が審査し企業を選定、随意契約する手順になっている

笠井 入札監視委員会の議事概要をみると職員が評価しているところがある。審査委員会のメンバーは防衛省職員ではないのか。

防衛相 審査委員会の構成は沖縄防衛局長はじめ防衛局のメンバーである。不十分であれば対応を考えないといけない。

笠井 審査会のメンバーが発注者側の職員で構成されてい

るとは驚くべきこと

笠井氏は「天下り先に業務を独占的に受注させることや、防衛省の意向に即したアセスを作成するの意思をまだ」と批判し

戒処分を受けた元北関

笠井氏は、受注企業に天下ったOBのなかに、2006年の防衛施設庁談合事件で処分を受けた人物がいるのではないかと追及。訓

東防衛局調達部長が元請けの日本海洋コンサルタントに、2級降任の懲戒処分を受けた元施設庁建設部長が、下請けの海洋プランニングにそれぞれ天下っている事実を突き付けました。

笠井 官製談合を主導した談合のフロクが天下っている。自作自演のやらせの構図だ。徹底調査するべきだ。

防衛相 再就職したことが適切であったかについては調査し、報告する。

防衛局長が関与 さらに、笠井氏は業者選定から発注にいたるまで責任を負う「支出負担行為担当官」の関与について追及。

田中防衛相は、担当官は眞部朗沖縄防衛局長と答弁しました。笠井氏は、2008年度以降、田中聡前防衛局長による3件を除き、すべての業務について企業の選定から天下り先企業と契約を結んだのが眞部氏だとのべ、徹底調査を求めました。

受注企業	契約金額	落札率%
●いであ	16億5900万円	93.05
●沖縄環境保全研究所	※10億8150万円	98.19
	※7億6125万円	99.22
●パスコ	※3億5490万円	99.86
	※1億9477万円	99.86
	※1億7325万円	96.82
	6億5100万円	95.37
	2億3100万円	98.39
	2億160万円	98.00
●日本工営	4042万円	92.63
●日本工営・日本海洋コンサルタント共同	※1億5435万円	99.20
	※3255万円	97.79

注：2006年11月～12年1月までの34業務のうち、防衛省OBの天下り企業が受注したのは28業務。表は、各企業の契約を金額の大きい順に抜粋したもの。※は随意契約、またはその一種である「プロポーザル」方式による入札。